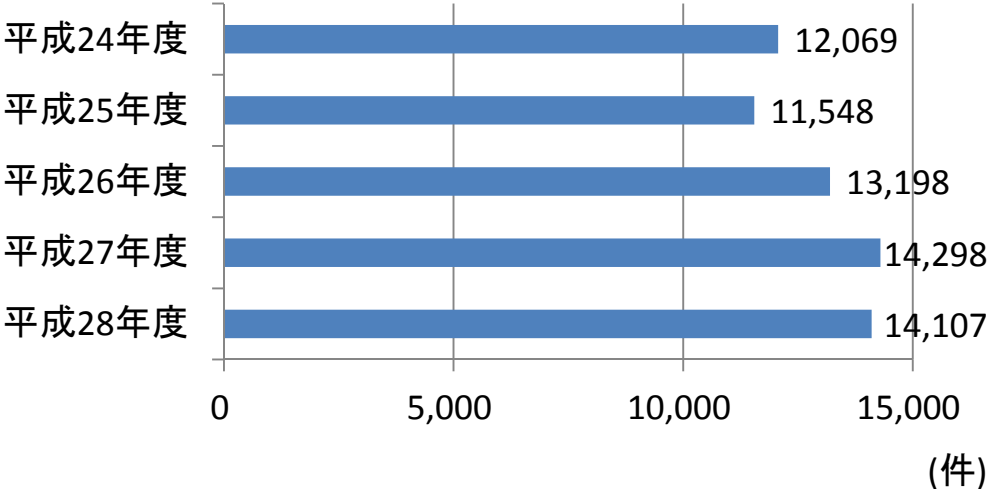




## 20 病理組織診断件数

<b>解説</b>	病理診断の結果に基づいて、治療の必要性や治療方法が選択されます。病気の最終・確定診断がどの程度行われているかを表す指標です。大学病院は高度な治療を行うだけでなく、その前提となる診断が適切になされることが肝要であり、正確な診断にも同じ重きを置いています。正確な診断の最終根拠として、病理診断が要ですが、診療全体の中で病理診断が必要となる状況がどの程度あるかを示します。												
<b>実績</b>	 <table border="1" data-bbox="391 965 1385 1451"><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成24年度</td><td>12,069</td></tr><tr><td>平成25年度</td><td>11,548</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>13,198</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>14,298</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>14,107</td></tr></tbody></table>	年度	件数	平成24年度	12,069	平成25年度	11,548	平成26年度	13,198	平成27年度	14,298	平成28年度	14,107
年度	件数												
平成24年度	12,069												
平成25年度	11,548												
平成26年度	13,198												
平成27年度	14,298												
平成28年度	14,107												
<b>定義</b>	1年間の医科診療報酬点数表における、「N000 病理組織標本作製(T-M)」と「N003 術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP)」の件数です。入院と外来の合計とします。細胞診は含めません。												